

子どもたち

の 健やかな 成長を



次世代を担うすべての子どもたちが、健やかに成長できるように、家族や地域の力で、安心・安全・安定して生活できる環境づくりを推進することが大切です。地域が一丸となり社会全体で子どもの健やかな成長を見守りましょう。

その気持ち 誰かを笑顔に させる種

子育て支援課 ☎ 9833・2713

(平成31年度児童福祉週間標語)



子どもを虐待から守る5カ条

～厚生労働省パンフレットから～

- ☑ 「おかしい」と感じたら迷わず連絡
- ☑ 「しつけのつもり」は言い訳～子どもの立場で判断
- ☑ ひとりで抱え込まない～できることから実行
- ☑ 親の立場より子どもの立場～子どもの命が最優先
- ☑ 虐待はあなたの周りでも起こり得る
～特別なことではありません

相談機関

- ☑ 児童相談所 (全国共通ダイヤル) ☎ **189** いちばやく
- ☑ 子ども・家庭 110 番 ☎ 924・4152
- ☑ 静岡県東部児童相談所 ☎ 920・2085
- ☑ 三島市家庭児童相談室 ☎ 983・2713
- ☑ 子ども SOS ☎ 0800・200・7576
- ☑ 緊急を要する場合：三島警察署 ☎ 110

PLASTICS HALL OF FAME

PLASTICSHOF.ORG

PLASTICS HALL OF FAME

1972年創設の「米国プラスチック産業界に認められているプラスチックに関わる唯一の殿堂」

2018年 5月 田中 秀雄 さん
(右から3人目)

殿堂入りを果たす



写真：PLASTICS HALL OF FAME 提供

Connect

…特別版…

◀「射出成形機に関わる様々な開発、海外メーカーとの協働によるプラスチック工業会の発展への寄与、日米プラスチック工業会の繋がりを深めた」などが理由。存命中の殿堂入りは日本人初。

広報みしま3月1日号の「頑張った三島市民」特集はご覧いただけましたか？
三島市民はスポーツや文化以外にもさまざまな分野で活躍中！
今回はプラスチック産業界で認められる田中さんを紹介します。

Q. 殿堂入りの理由、「射出成形機に関わる開発」とは何でしょう？

プラスチック原料を溶かし、金型内に注入（射出）し成形品を作るのが「射出成形機」です。よく目にするプラスチック部品や製品の多くがこれにより出来ています。

東芝機械株式会社では開発部で射出成形機の改良、開発に長く取り組みていました。

Q. 開発には最初から携わっていらっしゃったのですか？

入社後は、設計業務や製造部に従事し、その後、5年ほど米国東部地区に駐在。営業担当と2人で射出成形機の販売チャネルの開拓を始めました。

Q. 多くの苦労がありそうですね

言葉もできない日本人が来ても最初は誰も相手にしない笑
でも、最終製品に近い形状を得る成形法（ニア・ネット・シェイプ）である射出成形機の故障は、お客様にとって、そのまますぐに損失に繋がってしまいます。

だから「何かあったらいつでもサポートしますよ」と伝えることでだんだん信頼を勝ち取っていき、技術とサポートの両方を信用してもらえるというのは嬉しい経験でした。

Q. この駐在経験が受賞への第一歩なのですね。帰国後はいかがですか？

開発部に異動してからは製品の改良や設計……やっぱり面白いですよ。つらいけど面白い。

Q. ちなみに、やはりプラスチック製品がお好きなんですか？

いえ、特には笑。
でも製品の作り方は大体わかかりますし、退職した今でも展示会などに足を運んでいます。

Q. 成功の鍵は何でしたか？

チーム協働で仕事を進めたことと、良い人材に恵まれたこと。特に後者は産業界全体にとっても重要ですから、学生たちが産業・モノづくりに興味を持って学ぶことのできる機会の充実が急がれます。

プロフィール：1948年名古屋市生まれ。1988年、三島に転入。「東芝機械株式会社」常務などを歴任。2匹の犬を飼う愛犬家。